



2024,02,24

NO. 03

2024年度賃金のベースアップと  
労働条件向上を実現しよう!



**TOKYO MAIL NEWS** No. 042 2023.9.11

実質賃金 名目賃金

「実質賃金」が16カ月連続で減少！  
物価上昇に賃金が追いついていない！

厚生労働省が8日に発表した「7月分の毎月勤労統計調査」では、昨年の同月に比べて名目賃金は増加した一方で、実質賃金の減少が続いています。物価上昇に賃金が追いついていない証左であり、私たちの生活苦は続いています。会社は「社員・家族の幸福の実現」と言いますが、黒字を達成しても「厳しい経営」と述べて還元しないばかりか、有料子負債の増加や役員報酬の増額、親睦団体への補助を行っています。「2023年度 年末手当」に向けて、会社の脱炭化し・出稼日に頼られます。職場からの議論で正当な評価を求め、生活の豊かさの実現をめざそう！

本日、厚生労働省が発表した「2023年の毎月勤労統計調査」では（物価上昇を加味した）実質賃金が前年比2.5%減少し、2年連続でマイナスとなりました。

昨年12月の実質賃金も21カ月連続でマイナスとなり、物価高に賃金が追いつかない状態が続いています。

2023年の実質賃金は2年連続マイナスに！  
物価高に賃金が追いつかない！

**2023年度の負担額は(平均)10万2,000円増加！**

みずほリサーチ&テクノロジーズによると、1ドル=150円で推移した場合の1世帯（2人以上）あたりの2023年度の負担額は（昨年度比）平均で10万2,000円あまり増加すると試算しています。その大半が「食品の値上げ」であり、生活に重くのしかかっています。

生活苦を解消し、生活の豊かさを実現するために、毎年2～3月にかけて、労働組合が賃金引上げ等の労働条件改善に向けて要求を提出し、会社と交渉を行います。

**物価高に負けず、労働の多能工化等で高まる  
労働力の対価に相応しい「賃金引上げ」を  
実現させることが焦点だ！**

JR東日本グループで働くすべての仲間が  
働きがい・生きがい・心の豊かさを実感できる環境が必要だ！

東京地本発